

第2回

PUF(Physically Unclonable Function)技術シンポジウム

PUF技術が提案されて15年以上が経ちますが、半導体回路のトップカンファレンスであるISSCC等の学会で発表が続き、国際標準化の議論も進むなど、IoT時代に高いセキュリティを低成本で実装できる技術として再び注目されています。PUFは、IoTデバイスにおける鍵の生成・保護、チップの認証、サプライチェインの信頼性確保等の用途で使用できます。これら広い分野の方々にPUF技術のご理解をいただきたいと、PUFおよびIoT関連技術の専門家の講演を聴講いただける本シンポジウムを企画しました。

日時 2019.03.14 (土) 13:00-17:15

参加費 無料(要申込)

会場 立命館大学 東京キャンパス 教室4&5

ACCESS

- ・JR東京駅 日本橋口出口より直結
 - ・地下鉄大手町 B7出口より直結
 - ・地下鉄日本橋 A3出口より徒歩約5分
- 東京都千代田区丸の内1-7-12
サピアタワー8F
(http://bit.ly/access_tyo)



PROGRAM

PUFの基本技術

13:00 開会の挨拶とNEDO活動の紹介
藤野 毅(立命館大学 理工学部 教授)

13:10 PUFの基礎と国際標準化動向
堀 洋平(産業技術総合研究所 ナノエレクトロニクス研究部門 主任研究員)

13:30 複製可能なPUFの可能性について
佐藤 高史先生(京都大学大学院 情報学研究科 教授)

14:00 オーグメンテーション機械学習ライブラリを用いたPUFに対するモーデリング攻撃
栗野 皓光先生(大阪大学大学院 情報科学研究科 准教授)

14:30 PUF出力からのID/暗号鍵の再現法
駒野 雄一郎(株式会社東芝 研究開発センター コンピュータアーキテクチャ・セキュリティラボラトリー 主任研究員)

PUFの応用技術、関連話題

15:15 暗号アプロケーションで不可欠な鍵の保護とPUFの活用
鈴木 大輔(三菱電機株式会社 情報セキュリティ技術部 主席研究員)

15:45 IoTデバイスにおける電子証明書の応用
海上 勇二郎(パナソニック株式会社 イノベーション推進部門 ビジネスイノベーション本部 AIソリューションセンター ビジネスソリューション部 主任技師)

16:15 The design philosophy of VIA PUF & its major applications
Mr. David Bak(ICTK, Vice President)

16:45 ポスト量子時代とPUFと
今福 健太郎(産業技術総合研究所 サイバーコイジタルセキュリティ研究センター 主任研究員)

17:15 閉会のあいさつ
藤野 泰弘(国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)IoT推進部 主任研究員)

主催: 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
(NEDO「高効率・高速処理を可能とするAIチップ・次世代コンピューティングの技術開発」事業「複製不可能デバイスを活用したIoTハードウェアセキュリティ基盤の研究開発」)
協賛: 立命館大学 VLSIセンター

お申込み

2019年3月1〆切

参加ご希望の方の ①お名前(ふりがな) ②ご所属・役職 ③メールアドレス を記載し
以下の宛先までメールでお申し込み下さい。 ※会場の定員を超えた場合は先着順とさせていただきます。ご了承ください。

立命館大学・研究部・BKCリサーチオフィス

event-ro@st.ritsumei.ac.jp

<お問い合わせ>

■申し込み・会場等について:立命館大学 研究部 BKCリサーチオフィス 藤川栄 ☎ 077-561-2802 ✉ f-shiori@st.ritsumei.ac.jp
■シンポジウムの内容等について:立命館大学 理工学部 藤野毅 ☎ 077-561-5150 ✉ fujino@se.ritsumei.ac.jp